			市町村名(西之表市)
事	業	名	
趣旨	育又は目	的	子供たちの学びの意欲を向上させ、基礎・基本の定着を図るために、学校(教師・児童)・家庭・地域みんなが意識して取り組む。
参	加	者	児童 職員 保護者
活	動概	要	11月を「学力向上推進月間」とし、学力向上のための取組を学校全体で行った。 それとともに、家庭へ生活習慣の見直しをお願いした。期間の終わりにアンケート (朝ご飯を食べさせているか、家庭での学習環境が整っているかなど)を行い、集計 し、結果の周知を図り、今後の指導に生かすようにしている。
	動 写[説明]	真	・保護者に内容や方法を周知し、協力のお願いをしている。 ・子供は、日々取り組んだ問題の得点をカードに記入する。 ・1 週間ごとに持ち帰らせ、子供の学習理解度を学校と家庭が共に把握できるようにする。 ・最終日にアンケートを行い、今後の指導に生かすようにしている。

市町村名(西之表市)

事 業 名	高齢者とのふれあい活動(上西小学校) 実施時期 11月1日 (水)				
趣旨又は目的	高齢者の方々とのふれあい活動を通して,互いの交流を深めるとともに,昔の 生活や経験を知ることができる。				
参 加 者	校区在住の高齢者4名,児童20名,職員8名 計32名				
1 開会式(校長先生のお話・高齢者紹介) 2 活動内容の説明 3 ふれあい活動(昔あそび) 4 閉会式(お礼のことば)					





活 動 写 真 [説明]





【昔あそび】

けん玉やこま回し、おはじきなどの昔あそびを楽しんだ。一昨年度まで放課後児童見守り指導員(ボランティア)でお世話になった方々が来校され、久しぶりに子供たちと一緒に楽しい時間を過ごすことができた。

市町村名(西之表市)

F		印刷作者 (四之歌印)
事業	名	親子読み聞かせ会(上西小学校) 実施時期 11月9日(木)
趣旨又は目	的	保護者による読み聞かせを通して、読書活動を推進するとともに、保護者同士 の連携を深めることができる。
参加:	者	保護者15名,児童20名,職員10名,その他3名 計48名
活動概	要	 開会のことば 保護者による読み聞かせ 児童の感想発表 閉会のことば











【親子読み聞かせ会】

家庭教育学級主催の親子読み聞かせ会を実施した。保護者の皆さんは、子供たちのためにと何度も夜集まって練習をしたり、道具を準備したりしてくださった。大型紙芝居やペープサートの読み聞かせ、絵本に関するクイズ大会などをしていただいたが、子供たちもお話の世界を存分に楽しむことができた。

学校名(西之表市)

			TOTAL TICES IN T					
事	業	名	校区慰霊祭奉納相撲大会(国上小学校) 実施時期 11月3日(金)					
趣	旨又は	目的	校区の秋季慰霊祭での余興として、戦没者や亡くなられたご先祖様に子供たちの元気な姿を披露することを目的として、校区奉納相撲大会が行われた。					
参	加	者	国上校区民 国上小学校児童及び職員 国上小PTA					
活	動棚	要	10月20日(金)・10月24日(火) 練習 奉納相撲大会へ向けて、校区公民館の相撲場で練習を行った。校区のスポーツ推進委員を中心にまわしを付けていただき、相撲の所作や取り組みの仕方などについて指導をしていただき、相撲の練習も行った。久しぶりの奉納相撲大会ということで、校区の方々が児童と触れ合いながら、指導をしていただくよい機会となった。 11月3日(金) 奉納相撲大会 戦没者や亡くなられた方々をなぐさめ、子供たちの元気な姿を見ていただくことを目的とした校区慰霊祭奉納相撲大会が行われた。4年ぶりの開催ということで、校区の方々にも国上小児童の元気いっぱいの取組を見ていただき、相撲場は大きな歓声で包まれた。					



奉納相撲大会、6年生同士の決勝戦の 様子。手に汗握る熱戦もあり、会場から は大歓声も上がりました。

活 動 写 真 [説明]



出場した児童全員で記念撮影をしました。児童の元気な姿を披露する良い機会となりました。

学校名 (西之表市 事 業 実施時期 食育支援事業(伊関小学校) 11月1日 種子島で獲れる魚を通して本県の水産物への関心を高めるとともに、食に関する正し 趣旨又は目的 い知識と理解を深めさせる。また、食を通じて地域等を理解させ、食文化の継承を図る ことなどについて考えさせる。 伊関小学校全児童(1~6年生 19名) 教職員(9名) 者 熊毛支庁林務水産課(2名) 市役所農林水産課(1名) 漁業集落(4名) 加 保護者(2名) ○ 種子島の漁場や漁法等の説明 ○ 魚解体見学 活動概要 ○ 魚さばき体験 ○ 魚料理体験 ○ 魚料理の試食 ○ 魚さばき体験の様子 3年生以上の児童は、サバを三枚におろす 体験をした。 漁師さんにおろし方を教えていただいた 後、職員や保護者といっしょに行った。 活動写真 ○ 米粉を使った魚のからあげ作り 食物アレルギーに配慮した、米粉を使った魚 [説明] のからあげを作った。いつもとは違う食感や味 わいだったが, 自分でさばいた魚がこんなにお いしい料理になるんだという驚きがあったよ うだ。

学校名 (西之表市

事 親子 読書教室 、給食試食会(安納小学校) 業 実施時期 令和5年11月1日(月) 地域と育む「かごしまの教育」県民週間にあわせて給食試食会及び親子読書教室を行い、多くの方に学校へ足を運んでいただく機会としている。 また、同日の4時間目に親子読書会を設定することで、給食時間に親子や学級で読んでいただいた本を話題にしながら楽しい時間を過ごすことができると期待し本事業を設定した。 趣旨又は目的 参 加 者 本校児童、職員、保護者 合計 31名 1 親子読書教室(4時間目) 令年度は種子島の読み聞かせグループ「ぢろの会」をお招きした。会員の方より「ぢろ」というのは、種子島弁で「囲炉裏」のことであると教えていただき、 昔から囲炉裏を囲んで親から子へ伝えられてきた種子島の昔話を、方言を交えな がら語っていただいた 語りの一つに「手水郷」という話があった。安納校区の下郷地区に伝わる話で子供たちは、「行ったことがある。」「初めて知った。」と口々に感想を言いながら、親子で楽しい時間を過ごすと共に、地域に興味関心を持つ良い機会となっ 活動概要 た。 給食試食会(給食時間) 学年の枠を解き、家族で一つのテーブルを囲むようにして試食会を行った。普 段と違う雰囲気に最初は緊張気味の子供たちだったが、次第に慣れ、親子読書会 で聞いた昔話の内容や給食の献立についての話題で楽しい雰囲気の中、食につい て考えるよい機会となった。

1 親子読書教室の様子



種子島弁による紙芝居 「つばめどんの鬼征伐」



種子島弁語り「手水郷」

活動写真

「説明〕

2 給食試食会の様子



「里親さんと一緒に食べる給食」



「小学校最後の親子給食」

事	業	名	「たんぽぽ」読み聞かせ(現和小学校) 実施時期 11月1,2,7日(県民週間)
趣旨	旨又は	目的	保護者や地域の方々で構成する読み聞かせグループ「たんぽぽ」が、県民週間と 学校の読書月間に合わせて、子供たちが読み聞かせをし、子供たちの豊かな情操教 育に貢献する。 また、地域に伝わる昔話を題材にした民話や方言遊び等も通して、地域(郷土) を大切に思う郷土愛を育む。
参	加	者	読み聞かせぐループ10名 教職員 10名 児童 40名
活	動概	要	県民週間中に3日間,子供たちの興味・関心を高める内容のお話や種子島の民話等の読み聞かせを行う。各学年の発達の段階に応じた内容を工夫し,低・中学年には,三匹の子ぶたを短くリメイクし,子供たちが楽しめるよう劇で表現するなどして,豊かな心の育成を図る時間に貢献した。



活動写真 [説明]



【低学年読み聞かせ】



【高学年方言かるた】



【3匹の子ぶた劇】

学校名 (西之表市)

						于仅有 (四之衣巾)		
事	業	名	石碑祭り	(安城小学校)	実施時期	11月1日		
趣旨	言又は	目的	郷土の歴史や文化への理解を深めさせるとともに、郷土を愛し、郷土の発展を願う心情を育てる。					
参	加	者	安城小学	学校児童,保護者,教職員,等	安城校区民	:,校区役員		
			明治 14	年,種子島沖で難破したアメ	リカ商船ス	コシミア号の乗組員を手厚く介抱し		
			た安城の先人たちの遺徳を偲び、毎年11月1日に行っている学校行事である。保護					
			者や校区民など多数の方々の参加もあり,安城校区全体で本地域の歴史や文化,伝統					
			を学ぶ伝統	流行事となっている 。				
活	動概	要	今年度に	は,西之表市企画課歴史文化活	用係の荒れ	可翼氏を講師にお招きし, 安城の歴		
			史や文化は	こついて詳しく御講話いただレ	た。特にス	方言については,同じ西之表市内で		
			も地域に。	よって若干違うことを知り,子	供たちは多	₹城の人たちが普段話している言葉		
			を想起した	ながら,興味深く話を聞いてい	た。また,	安城に長くお住まいの方も初めて		
			知る内容な	が多く、子供も大人も安城につ	ついてじっ	くりと学ぶよい機会となった。		
			-		14.5			



店 期 与 点 [説明]

活動写真【先人の遺徳を偲び、石碑に刻まれた文を朗読】





【荒河氏による講話】



【多くの参加者が真剣に話を聞く様子】

					市町村名(南種子町)			
事	業	名	ヒロウィン・ナイトミュージアム	実施時期	令和5年10月29日(日)			
趣	旨又は	目的	令和2年度から開催している「ヒロウィン・ナイトミュージアム」を、今年度は制限なく一般町民を対象に実施し、夜間のミュージアム開放による博物館への興味・関心を喚起するともに、より多くの来館者・イベント参加者に広田遺跡や種子島の文化・風土に触れる機会を創出することを目的とする。					
参	加	者	町民					
活	動	既 要	 (1) 広田遺跡に関するクイズラリー(参加者にはお菓子配布) (2) 仮装コンテスト:受付時に写真を撮り,優秀者を選定。 (グランプリ・準グランプリ・ヒロウィン賞) (3) ヒロウィンアート:ハロウィンアート作品を募集し,ハロウィンウィーク展示 (4) ○×クイズ:15間程度のクイズ。正解者にはお菓子贈呈 (5) 音楽コンサート:ウクレレサークルanoanoによる演奏。 					
活	動气							